

次世代金融アンケート 2024 (説明資料)

2024年12月

SBI金融経済研究所

0. アンケートの概要

目的：暗号資産、ステーブルコイン（SC）、セキュリティトークン（ST）、非代替性トークン（NFT）といった新しいデジタル金融商品に焦点を当て、株や債券といった従来のリスク性金融商品と比較しながら、個人の資産選択行動やそれに影響を与える要因を明らかにする

調査：日本、アメリカ、ドイツ、中国の4カ国の20歳以上の個人（日本が1万人、他の3か国が各4千人、合計2万2千人）を対象として、2024年8月末から10月初にかけて実施

質問：①対象者の属性、②リスク性金融商品についての認知度、投資経験、認識、過去の投資パフォーマンスなど、③新しいデジタル金融商品についての認知度、投資経験、認識、保有額、最近の投資傾向、投資目的など、④金融リテラシーやリスク回避度、その他の金融資産選択に影響を与える可能性のある要因の4群

（問い合わせ先）

SBI金融経済研究所

住所 〒106-6019 東京都港区六本木1-6-1

泉ガーデンタワー19F

電話 03-6229-1001（代表）

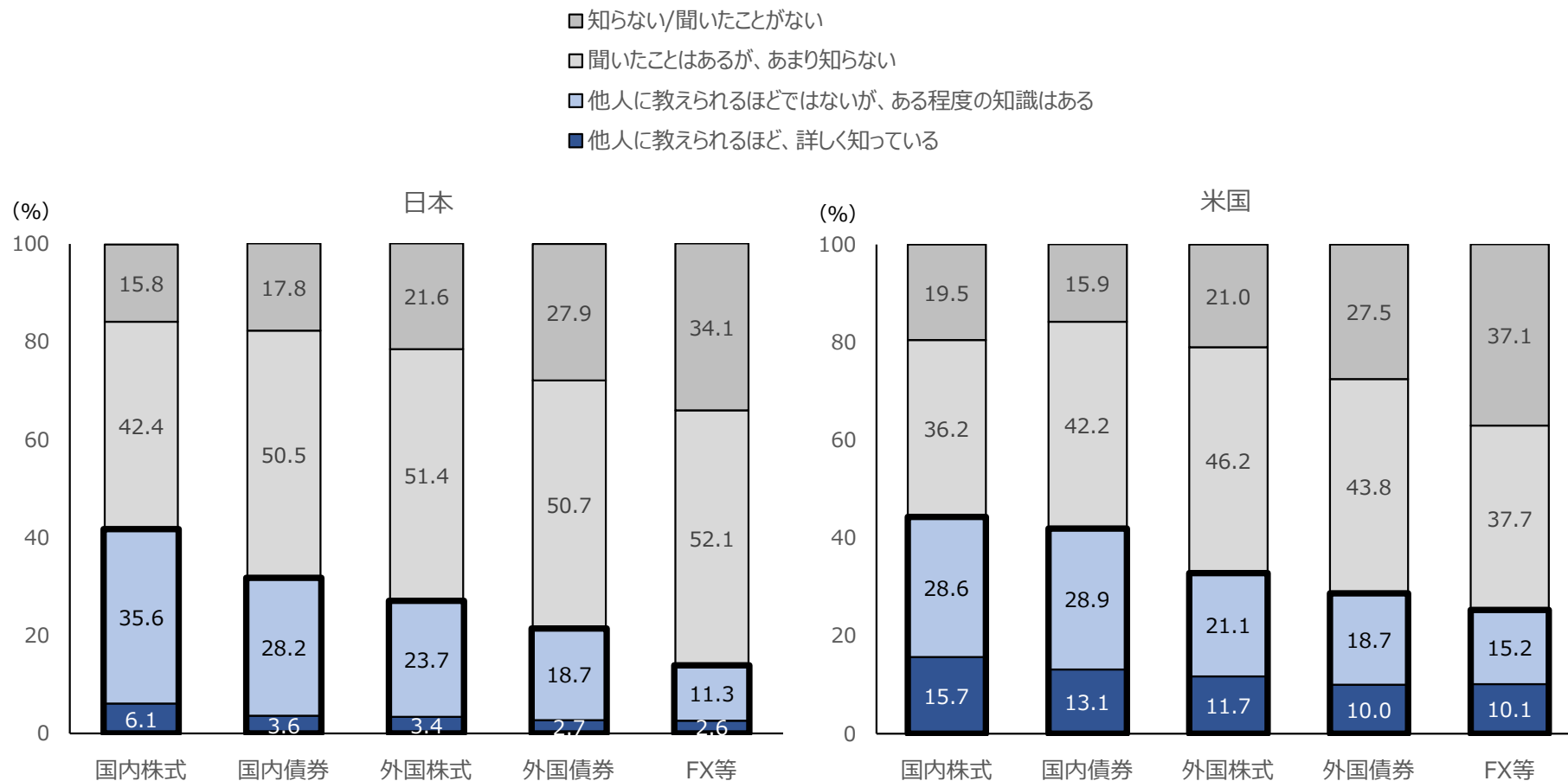
担当 増島・難波

この資料は「次世代金融アンケート 2024」の説明のために作成したものであり、引用等については直接報告書によりたい。

1. 金融商品の認知度

リスク性金融商品（国内株・債券、外国株・債券、FX等）

➤ 日本は米国等に比べいずれの商品についても低い。国内商品の方が外国商品より高い。株式の方が債券より高い



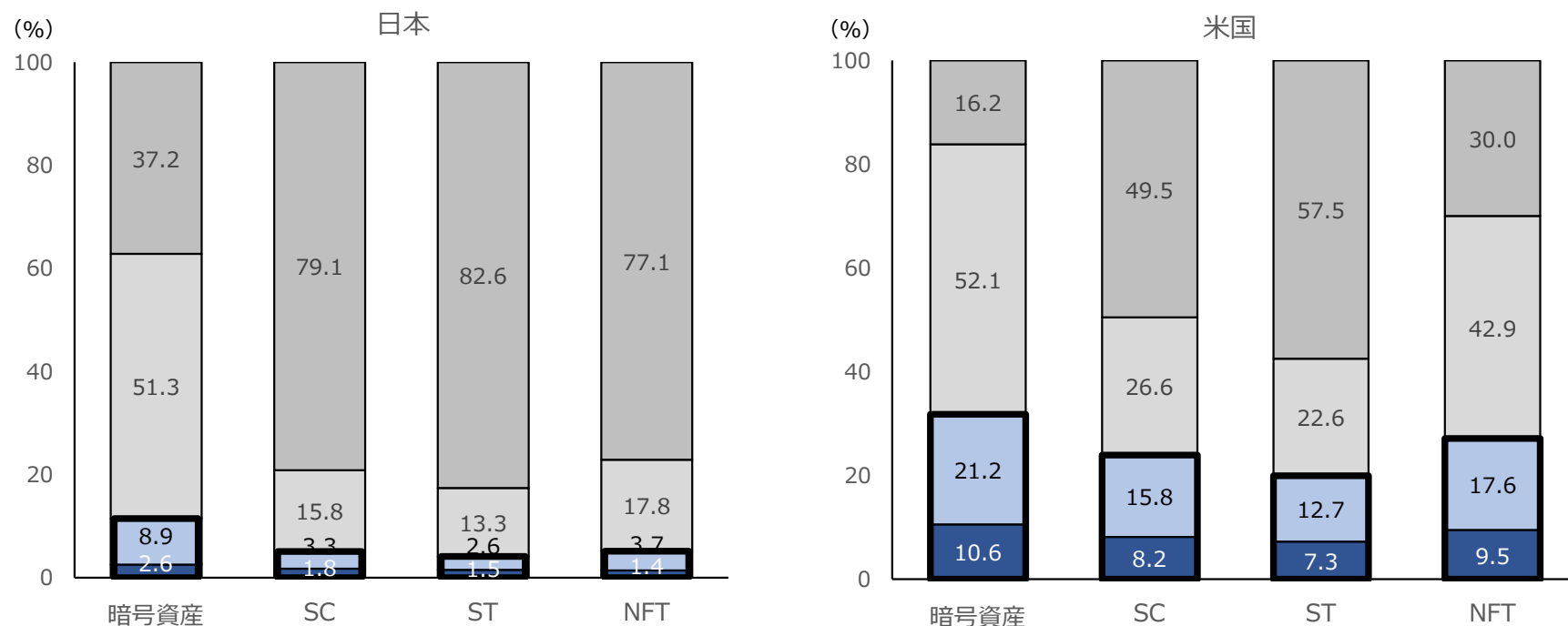
Q9. 次に挙げる金融商品について、あなたはそれぞれの程度ご存じですか。

1. 金融商品の認知度

新しいデジタル金融商品（暗号資産、ステーブルコイン、セキュリティトークン、非代替性トークン）

➤ 日本は米国等に比べいずれの商品についても著しく低い

- 知らない/聞いたことがない
- 聞いたことはあるが、あまり知らない
- 他人に教えられるほどではないが、ある程度の知識はある
- 他人に教えられるほど、詳しく知っている

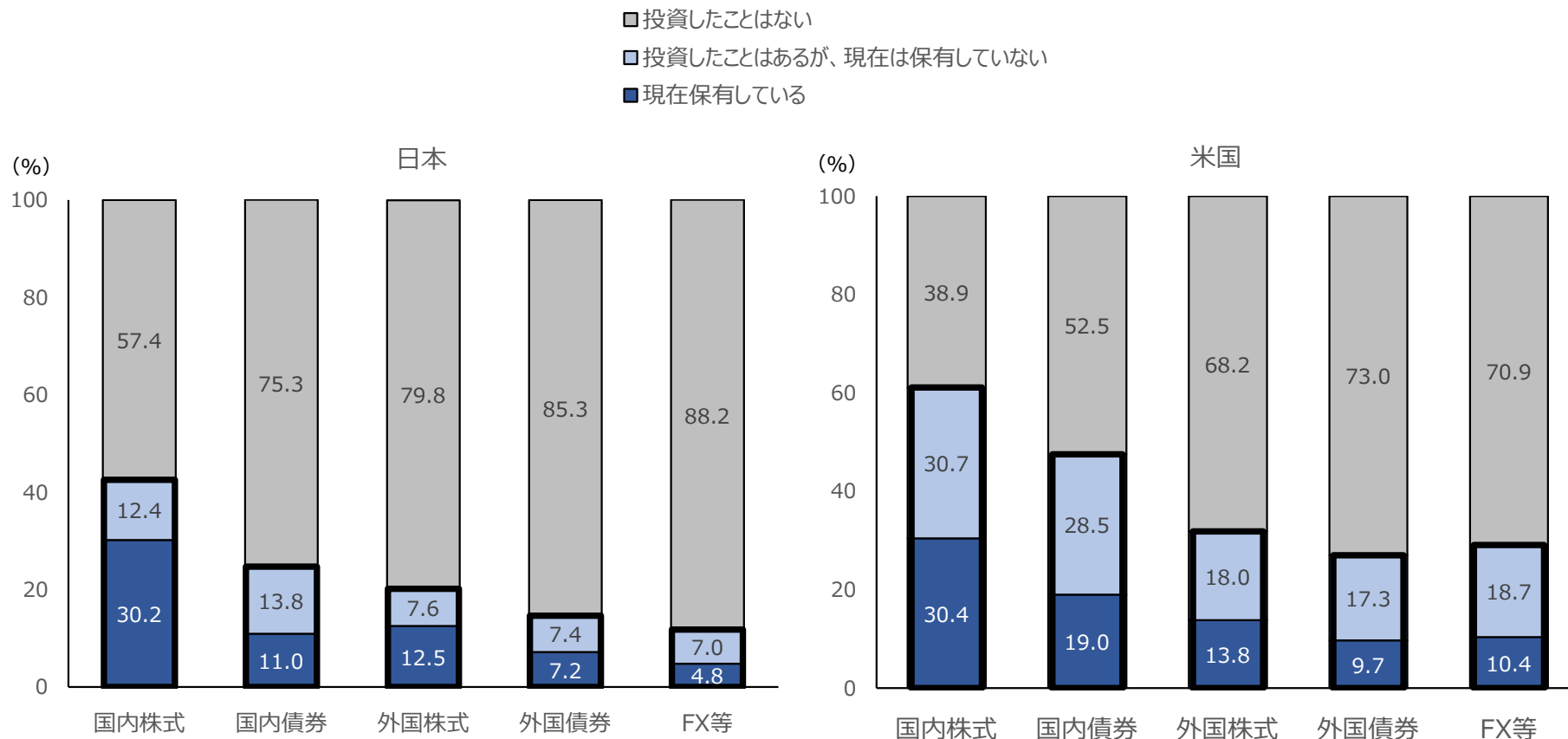


Q17. あなたは、暗号資産など次に挙げるものについてどの程度ご存じですか。

2. 金融商品への投資経験

リスク性金融商品（国内株・債券、外国株・債券、FX等）

- 日本は米国等に比べいずれの商品についても少ない。国内商品の方が外国商品より多い。株式の方が債券より多い

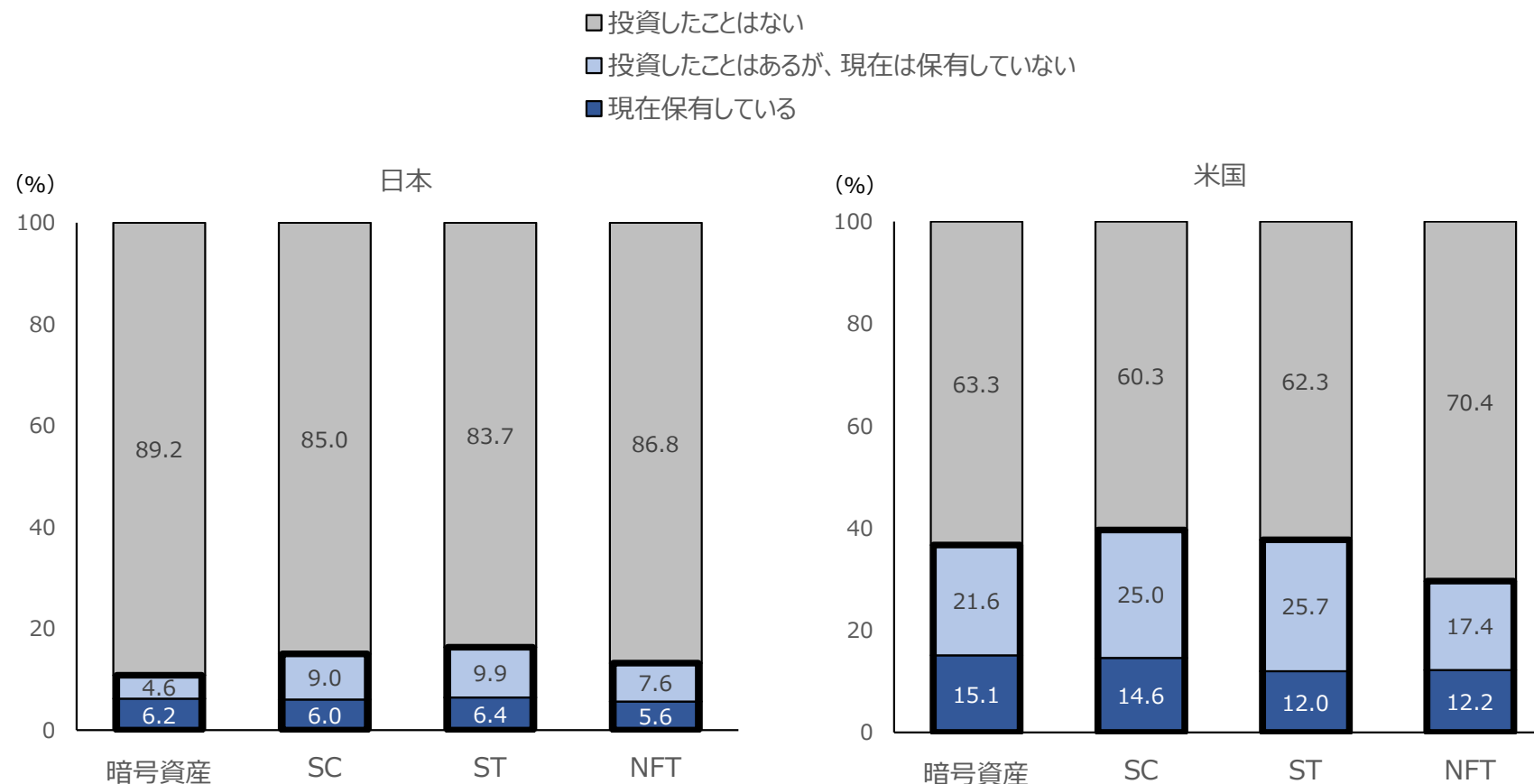


Q10. 次に挙げる金融商品について、あなたの投資経験をお答え下さい。

2. 金融商品への投資経験

新しいデジタル金融商品（暗号資産、ステーブルコイン、セキュリティトークン、非代替性トークン）

➤ 日本は米国等に比べいずれの商品についても著しく少ない

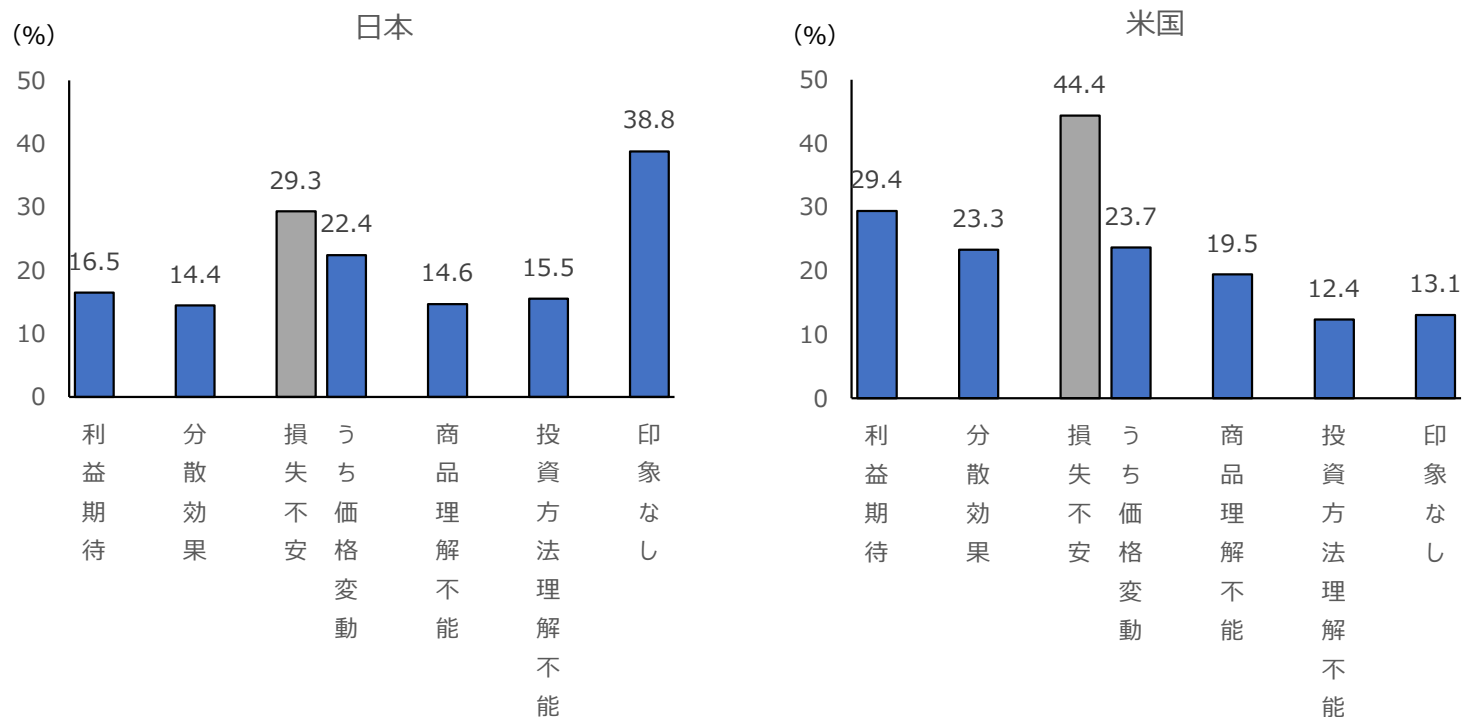


Q18-1. 新しいデジタル金融商品をご存知の方にお伺いします。新しいデジタル金融商品について、投資・利用経験をお教えてください。

3. 金融商品に対する認識

国内株式等

- 各国とも「損失不安」が多い。その中では「価格変動」を理由とする者が最も多く、特に日本では多い
- 米国等では「損失不安（価格変動）」に比べて「利益期待」も多いが日本では少ない



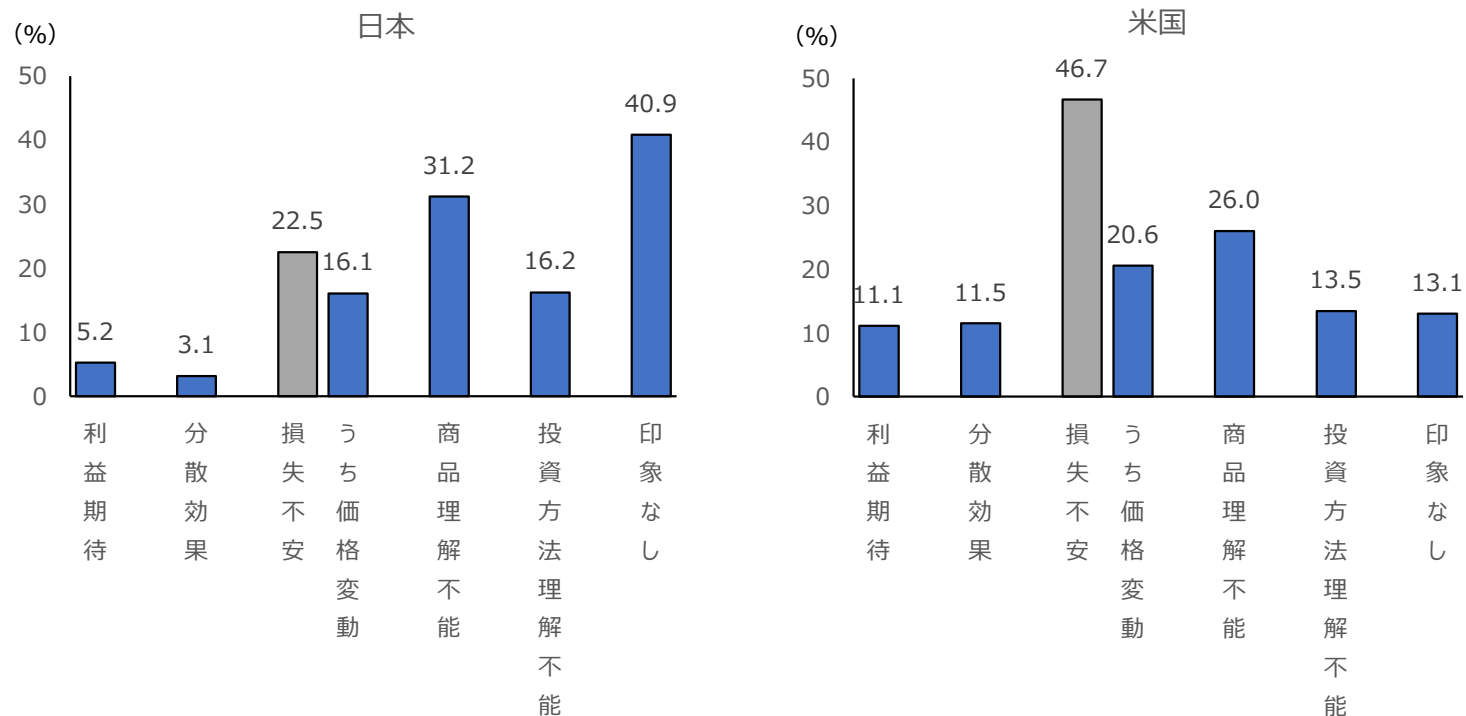
注) 「損失不安」は、価格変動、利益相反、不正会計処理、不公正取引の4つの理由のいずれかを回答した者の割合

Q13. あなたは次の金融商品について、どのように思われますか。(複数回答可)

3. 金融商品に対する認識

新しいデジタル金融商品

- 各国とも「商品理解不能」が多い
- 各国ともポジティブな回答（「利益期待」、「分散効果」等）よりも、ネガティブな回答（「損失不安」「商品理解不能」等）が多く、特に日本ではその差が大きい



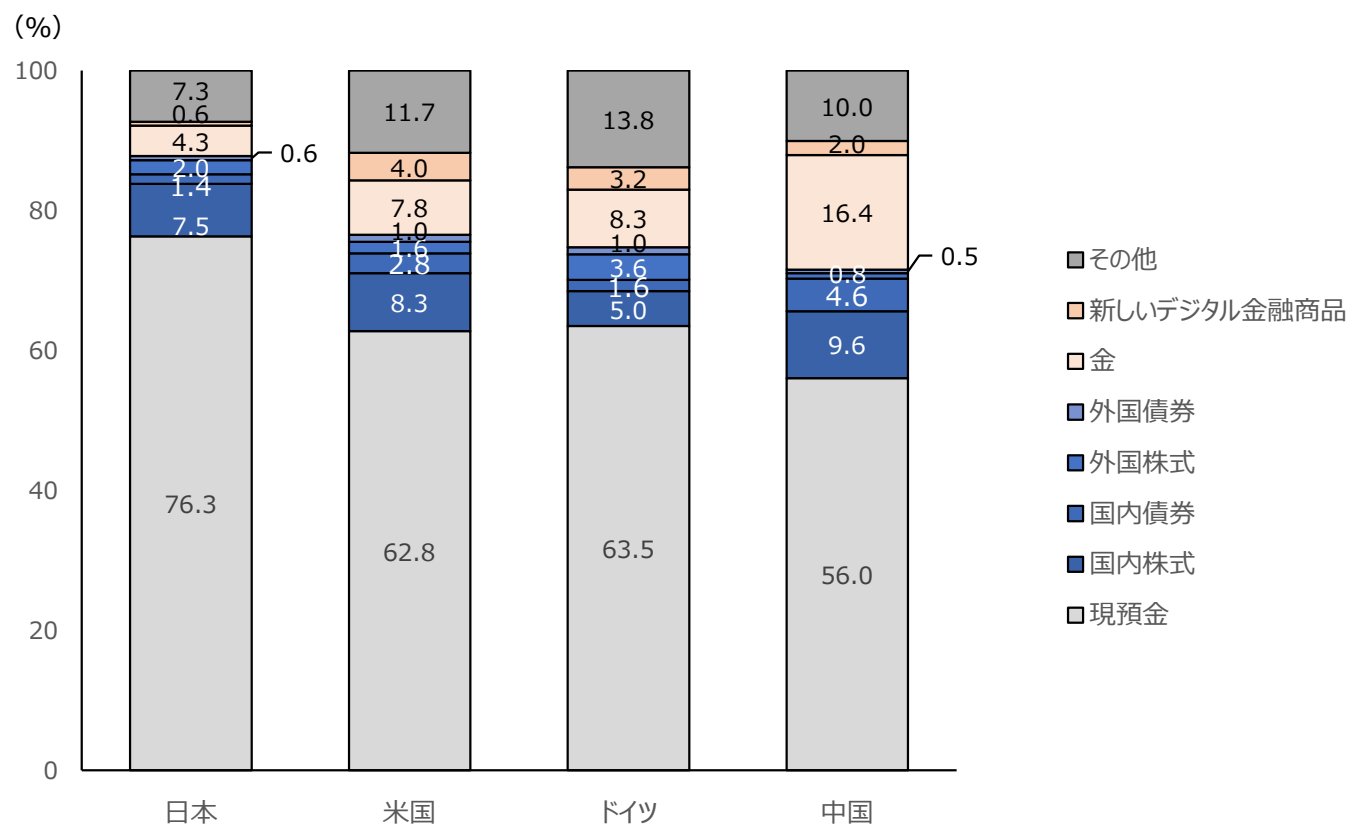
注) 「損失不安」は、価格変動、利益相反、不正会計処理、不公正取引の4つの理由のいずれかを回答した者の割合

Q23. あなたは次の新しいデジタル金融商品について、どのように思われますか。(複数回答可)

4. 金融資産の保有動向

現在のポートフォリオ

- 日本では現預金の割合が高く、リスク性金融資産の割合が低い
- 日本では新しいデジタル金融商品の割合は極めて低い水準にあり、他国に比べても低い

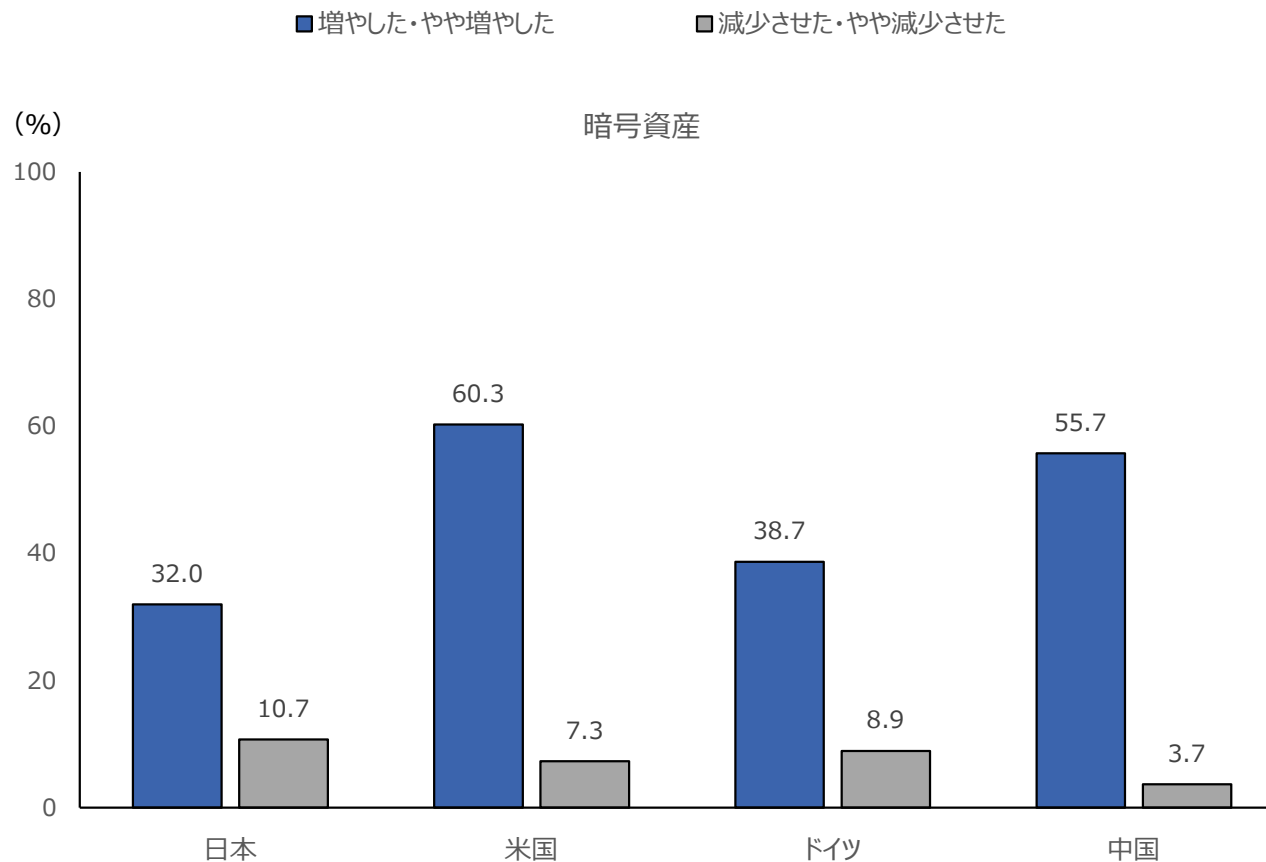


Q20. あなたが保有している金融資産の割合をお答えください。

4. 金融資産の保有動向

新しいデジタル金融商品の直近一年間の投資状況

- 新しいデジタル金融商品の保有者は各国ともその投資を増やしている

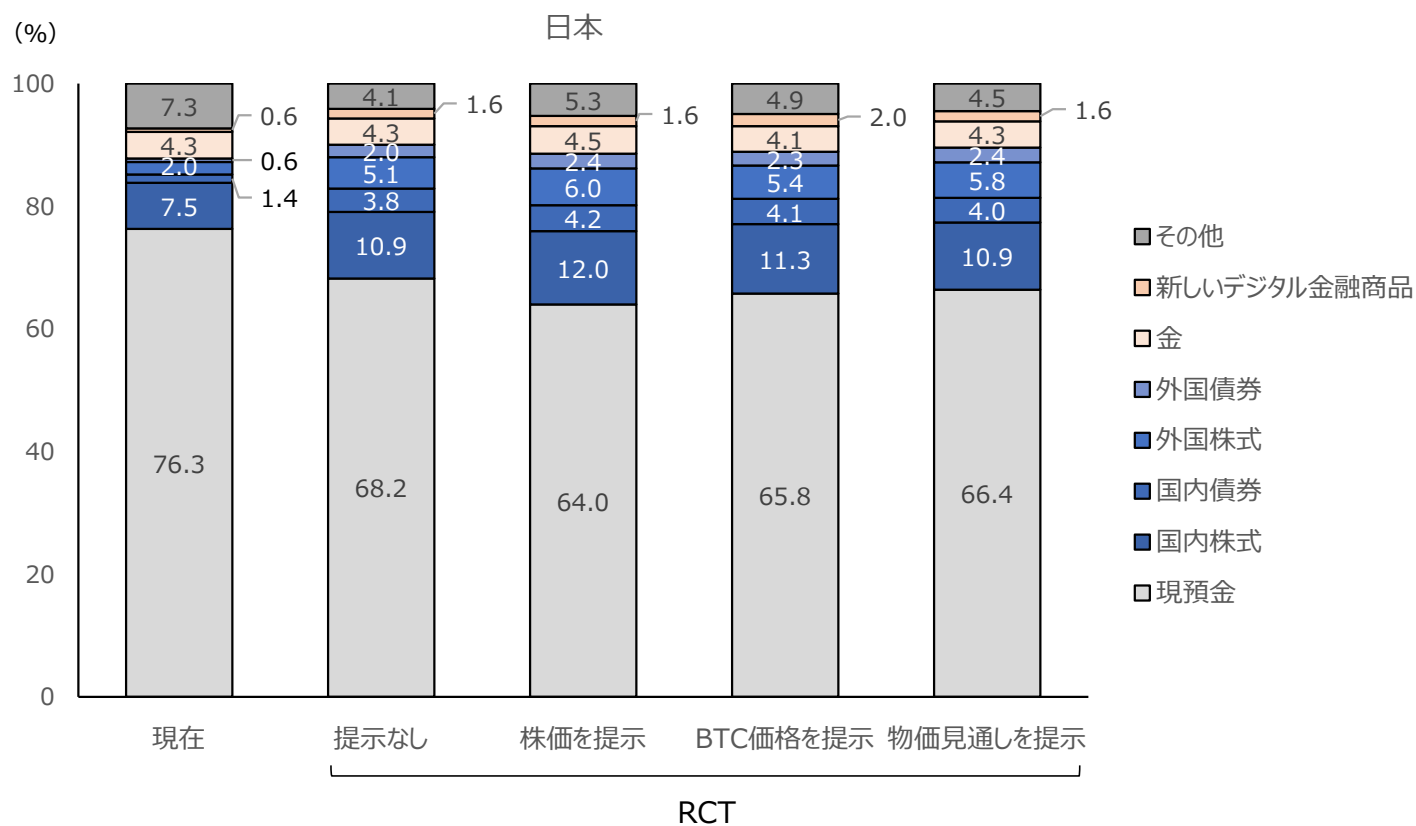


Q21. 新しいデジタル金融商品の直近1年間の投資状況

4. 金融資産の保有動向

将来の理想的なポートフォリオ

- 現預金の割合を減らしリスク性金融商品や新しいデジタル金融商品の割合を増やす傾向（「貯蓄から投資へ」）がうかがわれる
- 株価の情報を与えると株式投資を増やし、ビットコイン価格の情報を与えると新しいデジタル金融商品への投資を増やし、インフレ見通しの情報を与えると現預金の保有を減らす意向がみられ、情報提供が金融商品の選択に影響



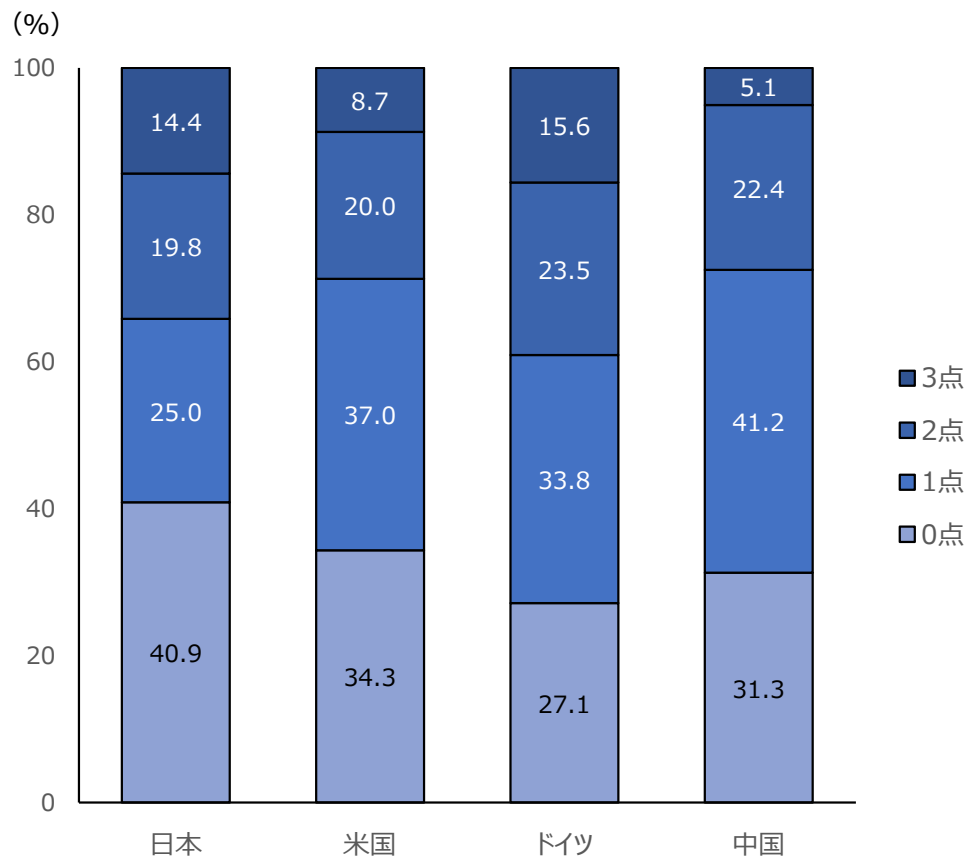
注) RCTとは、Randomized Controlled Trial (ランダム化比較試験) の略

Q37. 1年後における理想的な金融資産の保有割合をお答えください。

5. 金融リテラシー

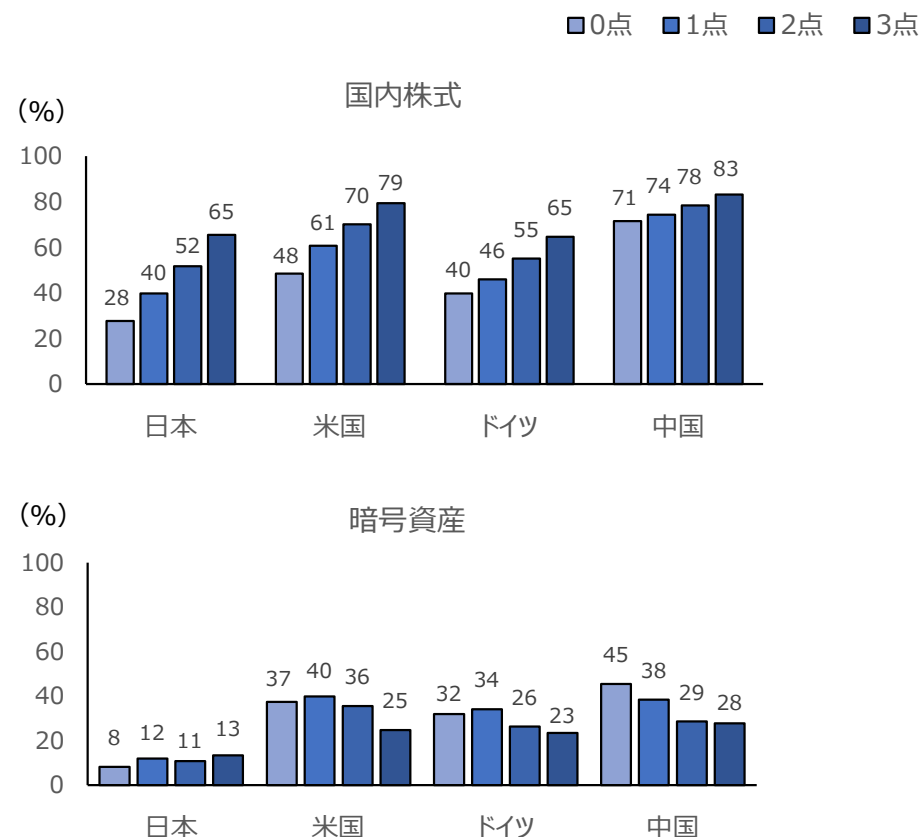
金融リテラシー指数

- 平均ではドイツが高く、その他の国は同水準



金融リテラシー指数と投資経験

- 金融リテラシーが高いほど国内株式等への投資経験が多く、暗号資産等への投資経験は少ない傾向



金融リテラシー指数：単利計算、複利計算、金融資産の実質価値、分散投資の効果に関する4つの質問の正答率から定義

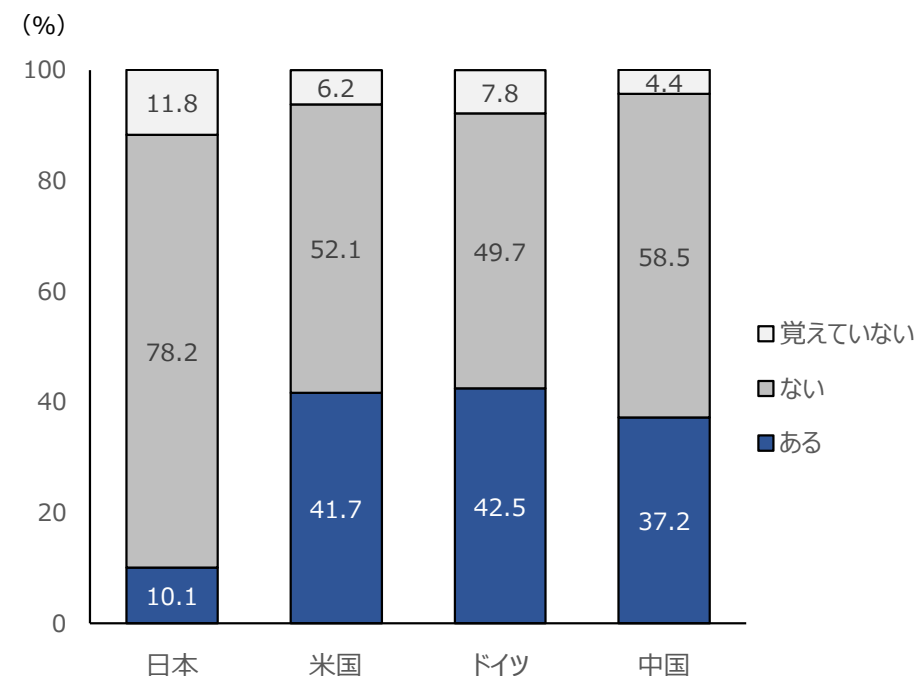
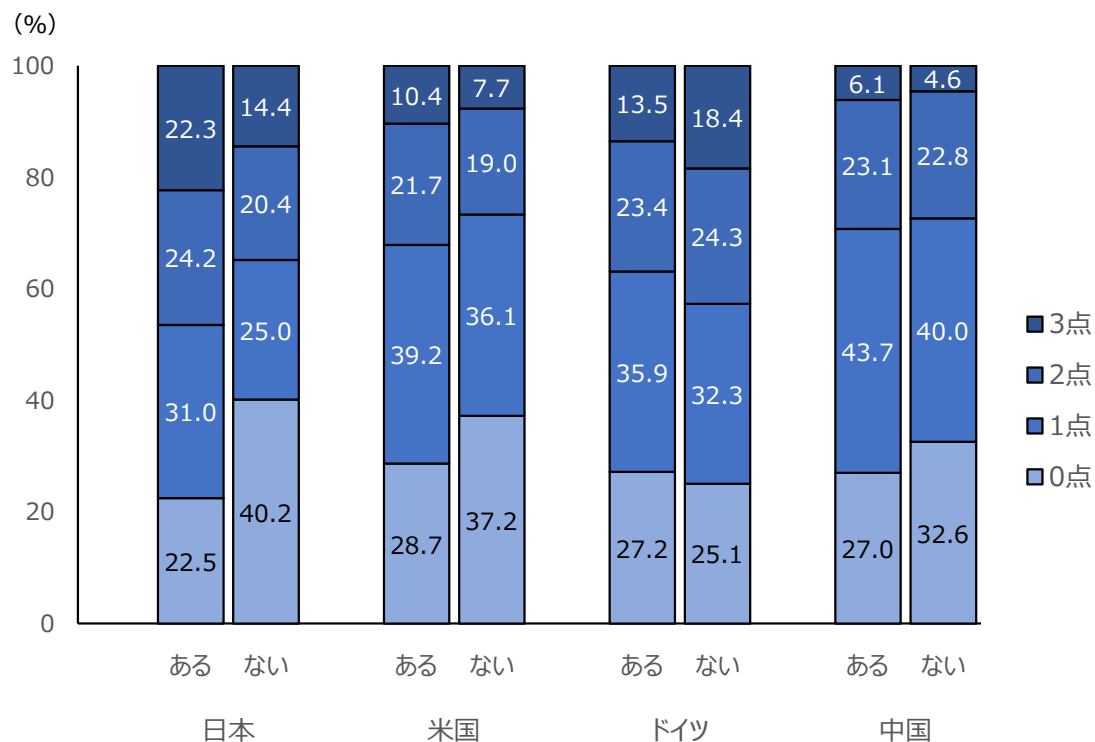
5. 金融リテラシー

金融教育と金融リテラシー指数

- 「貯蓄から投資へ」を進める上で金融リテラシーは重要だが、金融教育を受けた経験がある者ほど金融リテラシーが高い傾向

金融教育を受けた経験

- 日本では金融教育を受けた者の割合が低い

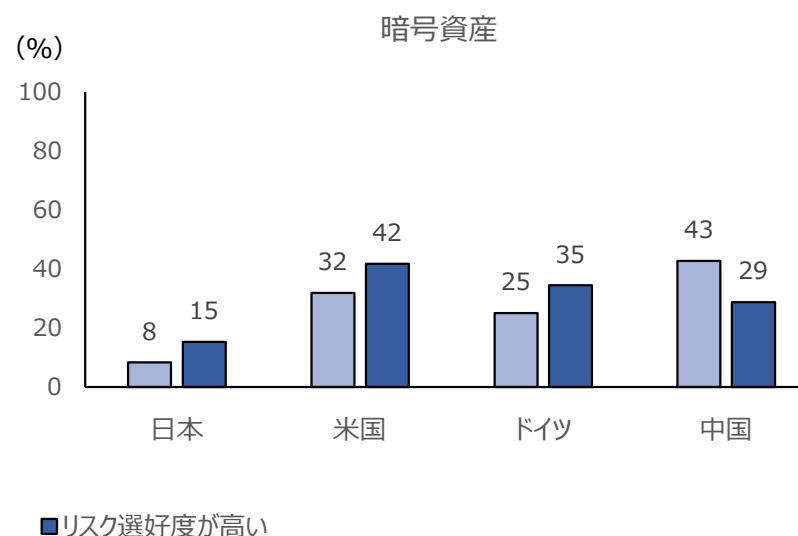
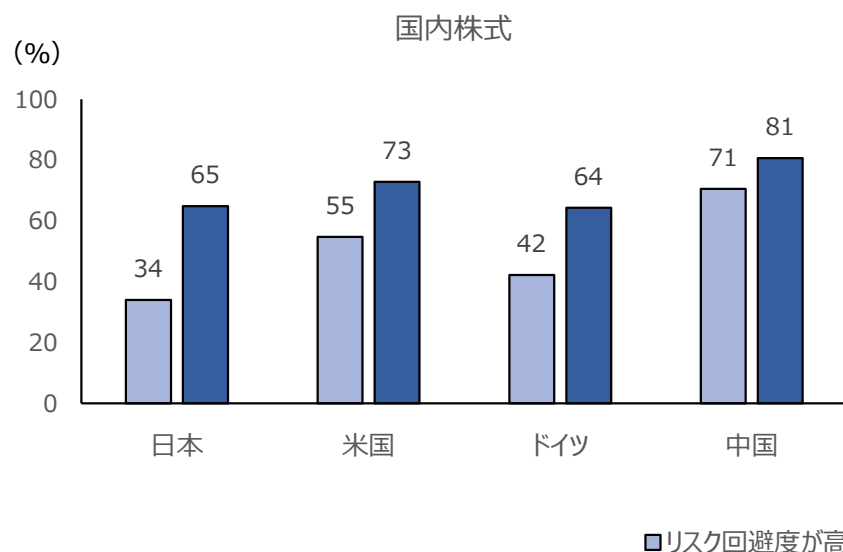


Q12. あなたは家庭や学校、職場等で金融教育を受けた経験がありますか。

6. リスク回避度・選好度

リスク回避度・選好度と投資経験

- リスク選好度が高いほど、リスク性金融商品や新しいデジタル金融商品への投資経験が多い傾向



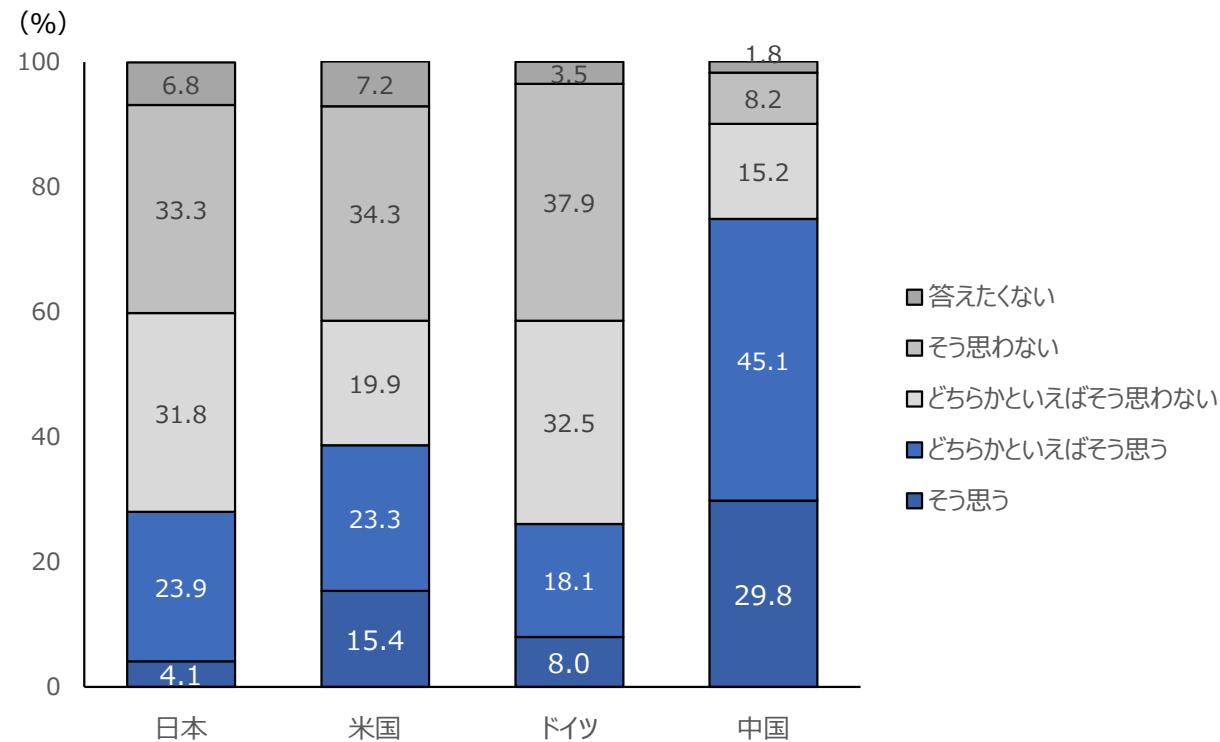
注) 「リスク選好度 (回避度) が高い」とは、Q29、Q30両方に期待値以上の (より低い) 額を回答した者

Q.29 50%の確率で12万円の利益がでて、50%の確率で8万円の利益がでる投資商品があったとします。
この投資商品がいくらなら買いますか。払ってもよいと思う最大金額を回答下さい。

Q.30 10%の確率で100万円の利益が出て、90%の確率で10万円の利益がでる投資商品があったとします。
この投資商品がいくらなら買いますか。払ってもよいと思う最大金額を回答下さい。

7. ジェンダー規範

➤ 男性優位のジェンダー規範を持っている人の割合は中国が突出して高く、次いで米国。日本とドイツは同水準

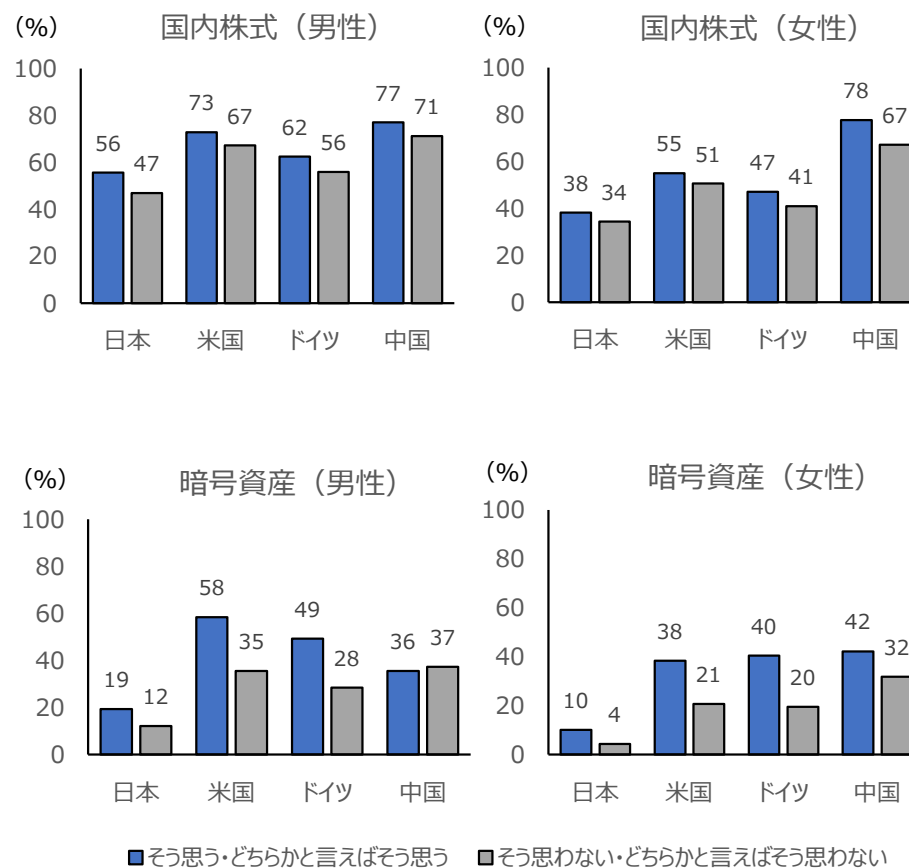


Q33. 次のような意見について、あなたはどのように思いますか。あなたのお気持ちにもっとも近いものを1つ選んでください。
「組織のリーダーには、男性の方が向いている」

7. ジェンダー規範

男性優位のジェンダー規範と投資経験

- リスク性金融商品や新しいデジタル金融商品への投資経験は、男性が女性に比べて多い
- 男女ともに、男性優位のジェンダー規範を持っている者のほうが投資経験が多い

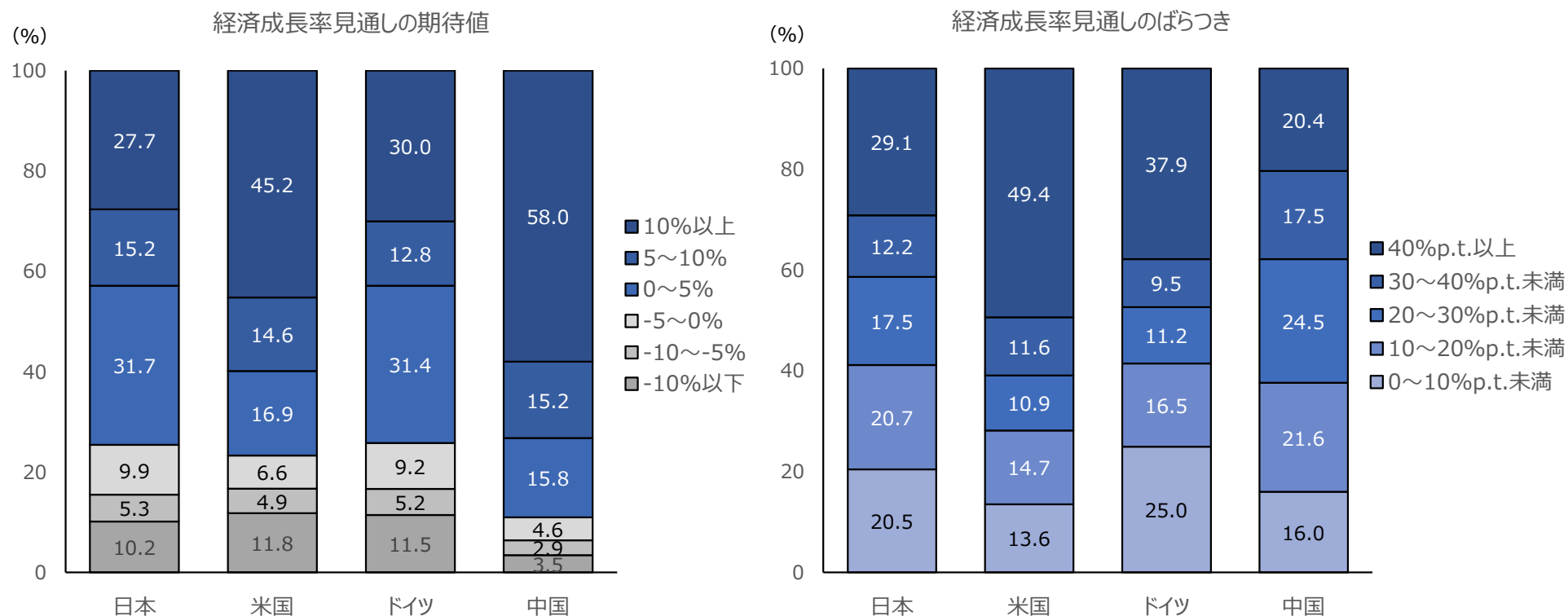


Q33. 次のような意見について、あなたはどのように思いますか。あなたのお気持ちにもっとも近いものを1つ選んでください。
「組織のリーダーには、男性の方が向いている」

8. 経済成長率見通し

経済成長率見通しの期待値、ばらつき

➤ 日本は、経済成長率見通しの期待値が最も低く、ばらつきも中国に次いで小さい



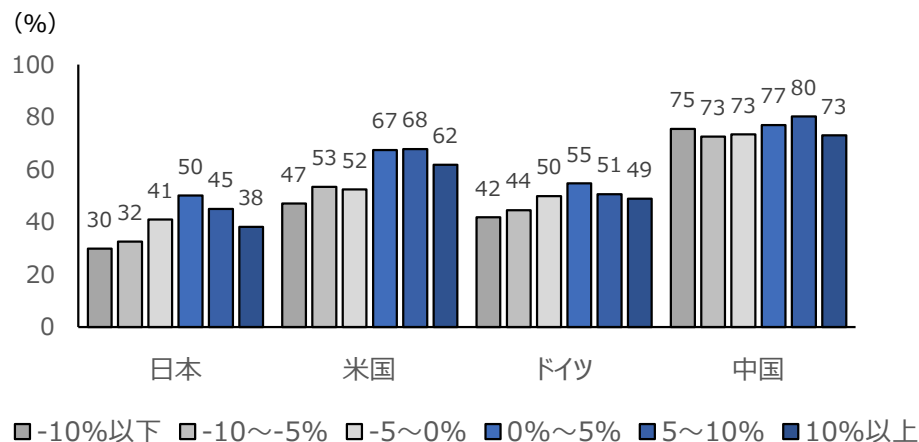
Q34. あなたは、今後1年間の日本の経済成長率はどの程度だと思いますか。

8. 経済成長率見通し

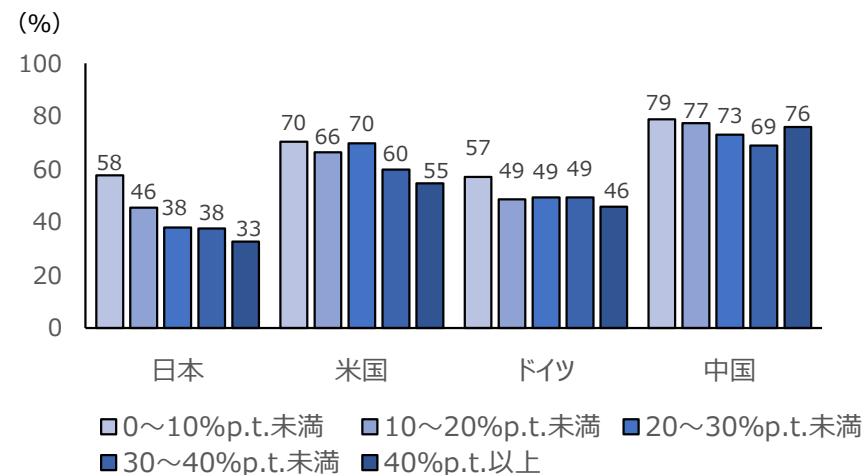
経済成長率見通しの期待値、ばらつきと投資経験（リスク性金融商品）

▶ 国内株式等への投資経験は、経済成長率見通しの期待値が高いほど多く、ばらつきが大きいほど少ない傾向

国内株式（経済成長率見通しの期待値）



国内株式（経済成長率見通しのばらつき）

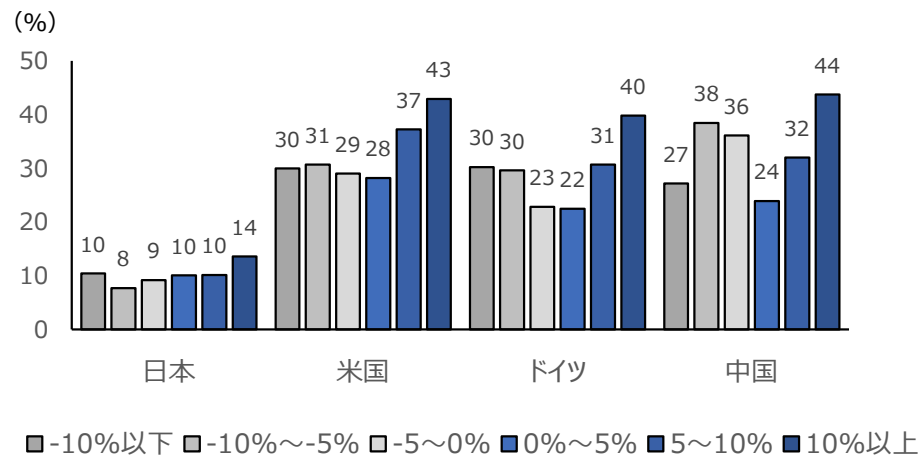


8. 経済成長率見通し

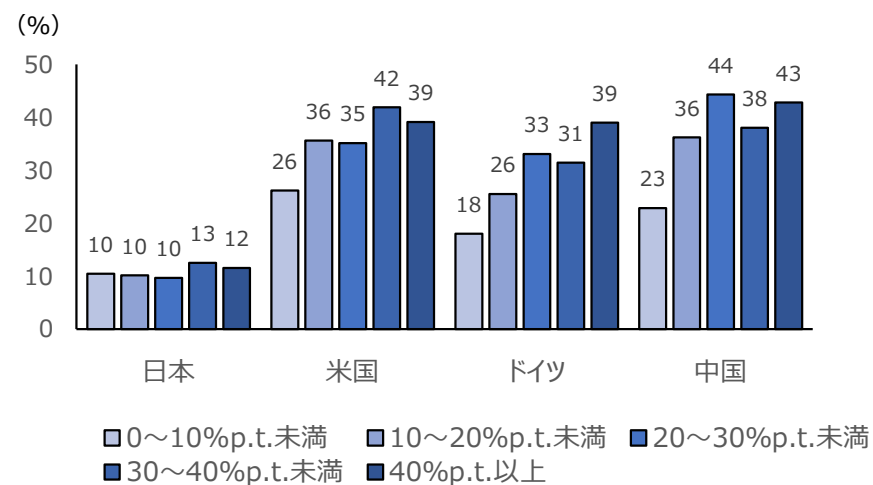
経済成長率見通しの期待値、ばらつきと投資経験（新しいデジタル金融商品）

➤ 経済成長率見通しの期待値、ばらつきが大きいほど、暗号資産等への投資経験が多い傾向

暗号資産（経済成長率見通しの期待値）



暗号資産（経済成長率見通しのばらつき）



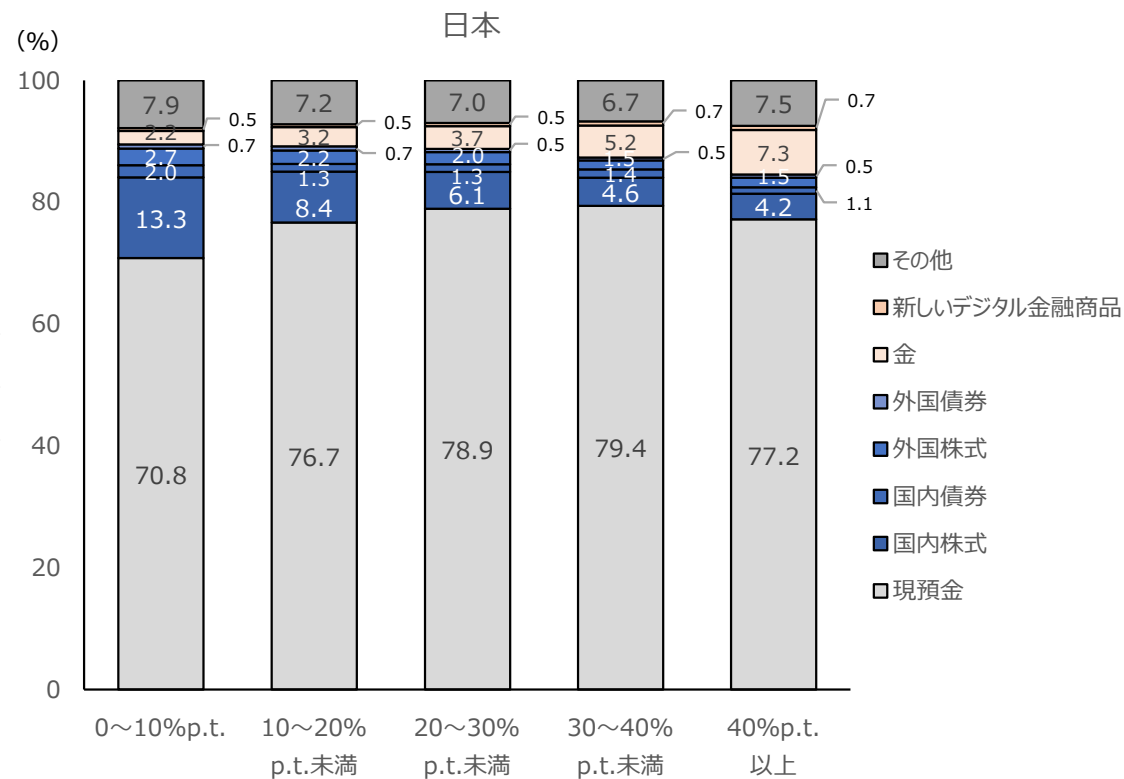
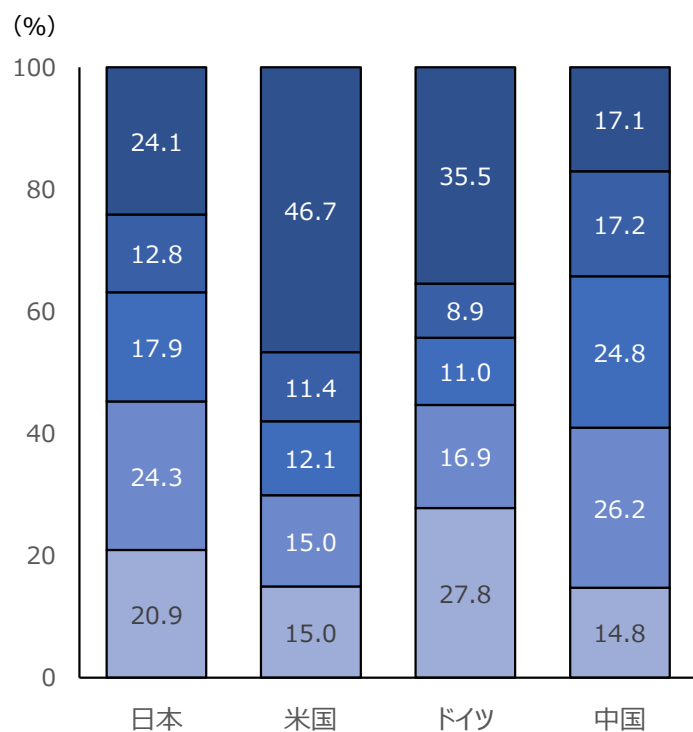
9. 物価上昇率見通し

物価上昇率見通しのばらつき

- 日本が最も小さい

物価上昇率のばらつきと金融資産の投資割合

- ばらつきが大きいほど金の保有割合が大きい傾向

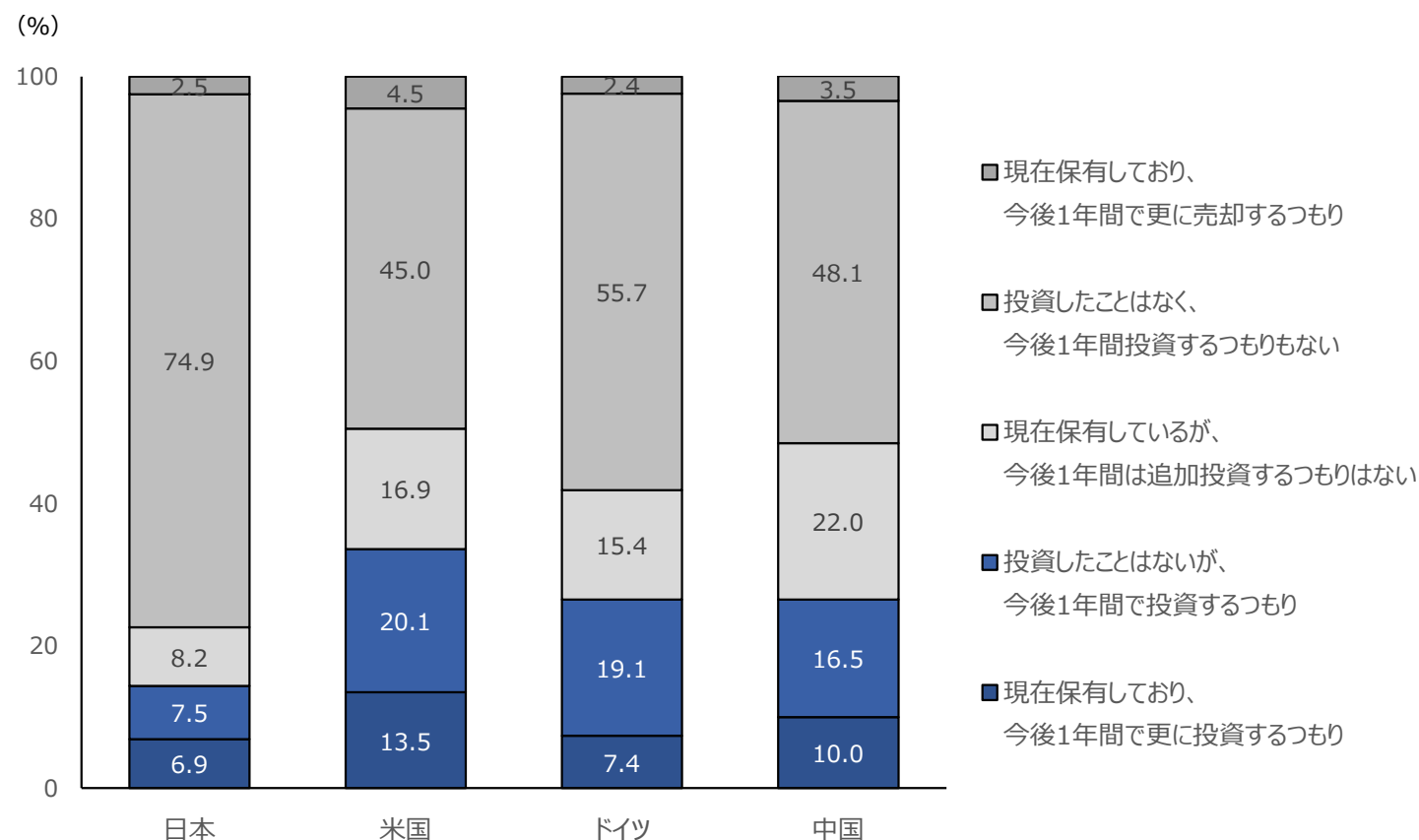


Q35. あなたは、今後1年間で物価がどのように変化すると思いますか。

10. 不動産投資

投資用不動産の投資動向

➤ 日本では投資用不動産への投資意欲が低い



Q38. あなたの投資用不動産（個人が投資目的で取得する不動産）への投資についてお答え下さい。